

平成24年度第4回富里市国民健康保険運営協議会会議録(要点筆記)

招集年月日	平成25年2月7日		
招集の場所	富里市役所 別館2階 大会議室		
開会・閉会の時間	開会 平成25年2月7日 13時55分 閉会 平成25年2月7日 14時40分		
◎会長 ○会長職務代理	氏名	出欠等の別	届出の有無
	◎池田 明	○	
	○大塚 良一	○	
	林田 美恵子	○	
	綿貫 文雄	○	
	大竹 俊子	欠	有
	田中 章三	○	
	我妻 道生	○	
	内田 啓二	○	
	麻野 邦子	○	
会議録署名委員	池田 明		
説明のため出席した者の職氏名	国保年金課長 栗原 智彦		
	国保年金課副主幹 新井 弘子		
	国保年金課副主幹 甲田 修巳		
職務のため出席した者の職氏名	国保年金課主査 岩館 進		
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

平成24年度第4回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 平成25年2月7日（木）

午後2時00分～

場 所 別館2階 大会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 題

(1) 平成24年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（案）
について

(2) 平成25年度富里市国民健康保険特別会計当初予算(案)について

4 その他

次回会議予定

事務局（案） 平成25年5月16日（木）午後

※開催する場合は事前に通知します。

5 閉 会

○委員の意見 ⇒市の説明

議題

(1) 平成24年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(案)について

⇒今回の第3号補正予算は、主に交付決定や決算見込み数字との差額を補正するものです。

△4,148万4千円を計上し、総額で59億6,017万3千円となります。

歳入、国民健康保険税の内、一般被保険者国民健康保険税・退職被保険者国民健康保険税合わせて△1億5,245万7千円、療養給付費交付金8,425万8千円の増額、療養給付費等交付金の退職被保険者等療養給付費交付金△2,048万3千円、前期高齢者交付金△2,069万3千円、高額医療費共同事業交付金△1,162万7千円、保険財政共同安定化事業交付金△873万1千円の減額、国民健康保険事業の健全な運営を図るため、一般会計から9,135万円を繰入金としていただく予定です。

歳出、保健給付費の高額療養費負担事業で、一般被保険者、退職被保険者と合わせて△3,400万円を減額。出生育児諸費(出生育児一時金)、特定健康診査等事業、その他事業費を含めて、国民健康保険特別会計の歳出全体で4,148万4千円の減額となります。

○3月の補正で、歳入・歳出の多くの科目において、減額補正がされていますが、支出が増えて、マイナスになってしまうことは、ないのですか。

⇒国の補助金などが未確定で、これからまだ数字が変わります、途中経過ということでご覧ください。一般会計から繰入をいただくことで、予算の枠内で収まるものと考えています。

採決・・・挙手全員

(2) 平成25年度富里市国民健康保険特別会計当初予算(案)について、

⇒平成25年度当初予算(案)は前年度比1億6,487万円、2.9%増の59億3,400万8千円を計上しました。

歳入、国民健康保険税は、8,980万円5.1%減の16億5,444万8千円、国庫支出金は、2,029万円1.4%増の14億3,246万1千円、療養給付費等交付金は、2,440万3千円7%減の3億2,274万4千円、前期高齢者交付金は1億62万2千円11.1%増の10億642万5千円、県支出金は、3,655万3千円10.7%増の3億7,735万2千円、繰入金は、1億229万3千円34.3%増の4億78万円。

歳出、保険給付費5,970万9千円1.6%増の37億6,588万9千円、療養給付費の一般被保険者療養給付は、9,328万4千円3.2%増の29億7,631万8千円、退職被保険者等療養給付費は、1,621万円5.3%減の2億9,153万3千円、高額療養費は、3,074万7千円7.5%減で3億7,857万2千円、その内一般被保険者高額療養費が2,938万5千円7.9%減の3億4,232万2千円。後期高齢者支援金等は、6,870万9千円7.6%増の9億7,751万8千円、介護納付金2,352万7千円5.6%増の4億4,084万6千円。保健事業費は、73万4千円2.2%増の3,426万3千円です。現在実施している脳ドックに加え平成25年度から人間ドックを実施する予定で予算要求いたしました。4月1日から実施できるように要綱を作成しているところです。

○人間ドックの助成について、詳しくお聞きしたいのですが、脳ドックで2万円、人間ドックは、どのくらい助成するのですか。

⇒2万円です。

○脳ドックを受けて、人間ドックも合わせて受けた場合は、4万円の助成を受けられるということですね。

⇒そうです。

○予算を算定するにあたって、過去、数年間の平均で算定するとかの公式みたいなものがあるのですか。

⇒公式みたいなものは、有りません。予算項目ごとに予算の支出状況を見ながら算定します。前年度との増減が著しいものについては、過去2・3年の状況を参考にしながら算定して、最終的には、国保特別会計の枠の中で収まるようにしています。

○予算を組むにあたっての国の指導などは、ないのですか。

⇒国の指導というものは、ありませんが、市も加盟している国保団体連合会という団体が給付等の予算を組む際に、過去3年間の伸び率の平均を出して算出しているということを知ったことがあります。富里も過去には、そうした形で算出していたこともありますが、現在は、前年の状況を加味して、予算組を行っています。

○国保財政が厳しい状況の中で人間ドックの助成を予算化していただいたことは、非常に評価できることだと思います。平成25年度予算案の全体を見ても、非常に手堅く組まれていると実感しています。

○来年度から人間ドックを実施されるということですが、近隣市町村の実施状況を教えてください。

⇒印旛保健所管内では、佐倉市・八街市・白井市が今年度から実施し、それ以外は以前から実施しています。実施していないのが富里市だけという状況になりましたので、平成25年度から富里市も実施する方向で予算要求しました。

○ジェネリック医薬品について、使用状況とか普及率的な資料あれば教えてください。

脳ドックと人間ドックの予算額と助成人数を教えてください。

⇒ジェネリック薬品の普及については、手続きで窓口においでになった方に、ジェネリック医薬品希望カード付きの印刷物の配布と合わせて、使用のお願いをしていますが、使用状況についての把握はしていません。

予算額は、人間ドック・脳ドック合わせと400万円、対象人数は、脳ドック50名、人間ドック150名の200名を予定しています。人間ドックが、実施できるように予算計上と合わせて、実施要綱の作成を行っています。

採決・・・挙手全員

次回の会議

平成25年5月16日（木）午後